

「志を立てて、以て万事の源となす」

講義・演習 「新しい時代に向けた
学校組織マネジメント」
横浜創英中学・高等学校 校長 工藤 勇一 氏



従来のビジネスモデルが通用しない今の時代では、自律型の子供を育てなければなりません。学校は子供の心理的安全性が守られているのか、子供が自己決定を積み重ねる経験ができてきているのか。学校教育を問い直し、組織改革のためのマネジメントには、次の点が必要です。

一つは、全員を当事者に変えることです。これは、全員に権限を与えるということです。

二つは、最上位目標について、対話を通じて全員と合意することです。そこで最も忘れてはならないことが、「手段を目的化していないか」熟慮しながら、目標を実現する手段を決定することです。

子供たちの自律のために、目的を考え「当たり前」を見直してみませんか。

塾生からの声

- 生徒の自律について深く考える機会になりました。今後の教育活動において、生徒の自主性や自律を妨げるような活動や発言はないかを見直し改善していきたいです。
- 何を指導するにも最大の問題は手段が目的になってはならないということを改めて感じました。職員への提案する際にはねらいをしっかりと把握するための活動や学習になっているかを検討したり、提案したりする力に繋げていきたいと思えます。
- これまでの自分の見方・考え方を大きく見直したり、変えたりする内容で、大変勉強になりました。日本の子供達の現状として、自己肯定感の低さが課題となっていることは知っていましたが、それを高めるために具体的に何が足りないのか、今後の教育の未来についてなど、今の自分に足りていない知識を身に付けることができました。
- 学校現場の様々な取組の中で、「手段の目的化」が見受けられます。取組を行うこと自体が目的になってしまい、それをやることで満足してしまっていることが多くあるように感じました。改めて、目的はなんなのかと考えてみると、意外に無意味な取組もたくさんあるように思います。形だけにこだわっているような部分も大きいと思います。子供の主体性を取り戻すためにも、今一度、一つ一つの取組を見直していきたいと思えます。

企画・運営研修「開（KAI）」⑤

熟議「理想の学校を伝え、共有し、語り合おう！」
教育センター 指導主事



塾生からの声

- 全体を通して考えたことで自分が何を理想と考えるか、また、その理想と現在の求められる学校や現在の学校との相違点について見つめることができました。
- たくさんの先生方の理想の学校を聞くことができ、教師としての幅が広がったと感じます。本研修に参加する前と今の自分を比べたとき、まさか自分自身の理想とする学校を校訓と交えて発表している姿は想像もできませんでした。言ったからにはその理想の学校に近づける言動や行動、そしてさらなる自己研鑽が必要だと感じます。日々の生活の中で、たくさんの人と対話をし、10年後を見通した取組を考えていきたいです。

令和4年度福岡教師塾（第7回）

令和4年10月21日（金）実施

福岡県教育センター